

(別添)

【改訂案】 アミドトリゾ酸ナトリウムメグルミン (ウログラフィン注 76%)、イオタラム酸ナトリウム、イオタラム酸メグルミン (コンレイ 30%注 220mL)、イオキシラン、イोजキサノール (ビジパーク 270 注 20 mL、同注 50mL、同注 100mL を除く)、イオトロラン (イソビスト注 240)、イオパミドール、イオプロミド、イオヘキソール、イオベルソール

下線部追記、取消線部削除

現行	改訂案
<p>【原則禁忌】 急性膵炎の患者 〔症状が悪化するおそれがある。〕</p>	<p>【原則禁忌】 (削除)</p>
<p>1. 慎重投与 (該当記載なし)</p> <p>2. 重要な基本的注意 (該当記載なし)</p>	<p>1. 慎重投与 <u>急性膵炎の患者〔症状が悪化するおそれがある。〔重要な基本的注意〕の項参照〕</u></p> <p>2. 重要な基本的注意 <u>ヨード造影剤の投与により腎機能の低下があらわれるおそれがあるので、適切な水分補給を行うこと。特に急性膵炎の患者においては、本剤投与前後にはガイドライン等を参考にして十分な輸液を行うこと。</u></p>

【改訂案】イオメプロール

下線部追記、取消線部削除

現行	改訂案
<p>【原則禁忌】 急性膵炎のある患者 〔症状が悪化するおそれがある。〕</p>	<p>【原則禁忌】 (削除)</p>
<p>1. 慎重投与 (該当記載なし)</p> <p>2. 重要な基本的注意 (該当記載なし)</p>	<p>1. 慎重投与 <u>急性膵炎の患者〔症状が悪化するおそれがある。〔「重要な基本的注意」の項参照〕</u></p> <p>2. 重要な基本的注意 <u>ヨード造影剤の投与により腎機能の低下があらわれるおそれがある</u> <u>ので、適切な水分補給を行うこと。特に急性膵炎の患者においては、本剤投与前後にはガイドライン等を参考にして十分な輸液を行うこと。</u></p>

【改訂案】アミドトリゾ酸ナトリウムメグルミン（ウログラフィン注 60%）、イオタラム酸メグルミン（コンレイ 60%注 20mL、同注 50mL、同注 100mL）

下線部追記、取消線部削除

現行	改訂案
<p>【原則禁忌】 急性膵炎の患者 [症状が悪化するおそれがある。]</p>	<p>【原則禁忌】 (削除)</p>
<p>【効能・効果】 ＜効能・効果に関連する使用上の注意＞ (該当記載なし)</p>	<p>【効能・効果】 ＜効能・効果に関連する使用上の注意＞ 内視鏡的逆行性膵胆管撮影の場合 原則として、急性膵炎の診断には本剤を用いた内視鏡的逆行性膵胆管撮影を施行しないこと。[急性膵炎発作時に内視鏡的逆行性膵胆管撮影を施行した場合、急性膵炎が悪化するおそれがある。] ただし、他の方法で診断され、胆管炎の合併や胆道通過障害の遷延が疑われる胆石性膵炎等の内視鏡的治療を前提とした内視鏡的逆行性膵胆管撮影の場合は、最新の急性膵炎診療ガイドライン等を参考に施行すること。</p>
<p>1. 慎重投与 (該当記載なし)</p> <p>2. 重要な基本的注意 (該当記載なし)</p>	<p>1. 慎重投与 急性膵炎の患者 [症状が悪化するおそれがある。(「重要な基本的注意」の項参照)]</p> <p>2. 重要な基本的注意 ヨード造影剤の投与により腎機能の低下があらわれるおそれがあるので、適切な水分補給を行うこと。特に急性膵炎の患者においては、本剤投与前後にはガイドライン等を参考にして十分な輸液を行</p>

	うこと。
--	------

【改訂案】 イोजキサノール（ビジパーク 270 注 20 mL、同注 50mL 、同注 100mL）

下線部追記、取消線部削除

現行	改訂案
<p>【原則禁忌】 急性膵炎の患者〔症状が悪化するおそれがある。〕 慢性膵炎の増悪期及び胆道感染症のある患者（内視鏡的逆行性膵胆管撮影時）〔症状が悪化するおそれがある。〕</p>	<p>【原則禁忌】 （削除）</p>
<p>【効能・効果】 <効能・効果に関連する使用上の注意> （該当記載なし）</p>	<p>【効能・効果】 <効能・効果に関連する使用上の注意> <u>内視鏡的逆行性膵胆管撮影の場合</u> 原則として、急性膵炎の診断には本剤を用いた内視鏡的逆行性膵胆管撮影を施行しないこと。<u>〔急性膵炎発作時に内視鏡的逆行性膵胆管撮影を施行した場合、急性膵炎が悪化するおそれがある。〕</u> ただし、他の方法で診断され、胆管炎の合併や胆道通過障害の遷延が疑われる胆石性膵炎等の内視鏡的治療を前提とした内視鏡的逆行性膵胆管撮影の場合は、最新の急性膵炎診療ガイドライン等を参考に施行すること。</p>
<p>1. 慎重投与 （該当記載なし）</p> <p>2. 重要な基本的注意</p>	<p>1. 慎重投与 <u>急性膵炎の患者〔症状が悪化するおそれがある。（「重要な基本的注意」の項参照）〕</u> <u>胆道感染症のある患者（内視鏡的逆行性膵胆管撮影時）〔症状が悪化するおそれがある。〕</u></p> <p>2. 重要な基本的注意</p>

<p>(該当記載なし)</p>	<p><u>ヨード造影剤の投与により腎機能の低下があらわれるおそれがあるので、適切な水分補給を行うこと。特に急性膵炎の患者においては、本剤投与前後にはガイドライン等を参考にして十分な輸液を行うこと。</u></p>
-----------------	---